

あなたの10代前のご先祖さま

財務局長

梶原 亮大

「あなたの直系のご先祖さま、10代前までさかのぼると全部で何人いらっしゃいますか？」ときどき、ご法事の法話をこの質問から始めることがある。父母・祖父母・曾祖父母・高祖父母：数えると1024人になる。その多さに驚く人がほとんどで、しかもその1024人のうち1人でも欠けると今の自分は生まれていないと話すと神妙な顔にかわる。ほんの僅かな確率が重なった上に、今の自分の生活があると知ると、会ったことのないご先祖さまへの想いが少しは変わっていくのではと思う。このような話を檀徒さんにながら、私は自分の数代前のご先祖さままでしかわからない。檀徒さん宅の過去帳や位牌を見て、だいたい



1024。より大事にすべきこと

同じで、数代ぐらいの記録しかないことが多い。もちろん、10代前のご先祖さまのご遺骨が入っているお墓は見たことがない。

話は変わり、今年9月に私の住む長崎で、あるニュースが

報じられた。安土桃山時代、長崎からロームを目指して旅をした天正遣欧使節の4人の少年がいた。

その1人である千々石ミゲルと思われる遺骨が発掘されたのだ。平成16年からミゲルの直系である浅田昌彦氏がプロジェクトを立ち上げ、発掘を続けていた。

うちのお寺がミゲルとご縁があり、墓所を発掘するときは供養と安全祈願を行っていた。ご遺骨発見のときには、現地に伺いお経をあげ

た。千々石ミゲルは代表の浅田氏の約10代前のご先祖さまである。まさか、10代前のご先祖さまに出会える人がいるなんて…。先祖のご遺骨をみる浅田氏の安堵した様子が印象的だった。

家族のあり方は、家を大事に守っていた時代から、より個人を重視する時代に変わってきている。

そのなかで先祖や墓は、人の生活からより遠ざけられるようになった。しかし、私たちがどんな繋がりの中で生を享けたかを考えたとき、より大事にすべきことが見えてくる。

◇ ◇

昭和63年1月21日生れ／長崎県日蓮宗青年会所属／立正大学大学院文学研究科博士後期課程満期退学